

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成27年2月12日 (2015.2.12)

【公開番号】特開2013-128607(P2013-128607A)  
 【公開日】平成25年7月4日 (2013.7.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-035  
 【出願番号】特願2011-279065(P2011-279065)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】  
 【提出日】平成26年12月17日 (2014.12.17)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 2】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明は、汎用性が高い画像処理手段を備えることを目的とする。

【手続補正 4】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

本発明は以下の構成を採用した。括弧内の参照符号は、本発明の理解を容易にするために実施形態との対応関係を示したものであって、本発明の範囲を何ら限定するものではない。

【手続補正 5】  
 【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明にかかる遊技機 ( 1 0 0 ) は、画像データを記憶する記憶手段 ( 3 3 1 ) と、画

像を表示する第 1 画像表示手段 ( 1 0 4 ) および第 2 画像表示手段 ( 1 2 5 ) と、第 1 動作周波数を生成する第 1 発振器 ( 9 0 1 ) と、前記第 1 動作周波数よりも低い第 2 動作周波数を生成する第 2 発振器 ( 9 0 2 ) と、前記第 1 動作周波数を用いて前記画像データから描画データを生成して前記第 1 画像表示手段 ( 1 0 4 ) に画像を表示させるとともに、前記第 2 動作周波数を用いて前記画像データから描画データを生成して前記第 2 画像表示手段 ( 1 2 5 ) に画像を表示させる画像処理手段 ( 3 1 4 ) と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

本発明によれば、画像処理手段の汎用性を高めることができるという効果を奏する。

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像データを記憶する記憶手段と、

画像を表示する第 1 画像表示手段および第 2 画像表示手段と、

第 1 動作周波数を生成する第 1 発振器と、

前記第 1 動作周波数よりも低い第 2 動作周波数を生成する第 2 発振器と、

前記第 1 動作周波数を用いて前記画像データから描画データを生成して前記第 1 画像表示手段に画像を表示させるとともに、前記第 2 動作周波数を用いて前記画像データから描画データを生成して前記第 2 画像表示手段に画像を表示させる画像処理手段と、

を備えることを特徴とする遊技機。